

正誤表

2022年4月2日

2022年目標 TAC建築士講座

級	一級
講義	学科
科目	構造
教材	テキスト・問題集

日付	頁	誤	正
	テキスト P242 39行目	→鉄筋がコンクリートから抜けにくくなるから。	→鉄筋がコンクリートから抜け <u>やすくなる</u> から。
4/2	問題集 P446 肢4 解説図	<p>※図中、大、小を訂正してください。</p> <p>柱梁接合部に作用するせん断力</p> <p>柱と梁から受ける曲げモーメントによる引張力と圧縮力から生じる斜め引張力</p>	

以上のとおり、訂正をお願いいたします。

正誤表

2022年4月2日

2022年目標 TAC建築士講座

級	一級
講義	学科
科目	法規
教材	テキスト

日付	頁	誤	正
4/2	テキスト P16 2行目	→届出事項（一級建築士が都道府県知事を経由して国土交通大臣に届出を行う事項） ※仮線部を削除。	→届出事項（一級建築士が国土交通大臣に届出を行う事項） ※法改正により都道府県知事を経由しなくなりました。
	テキスト P21 1行目	＜契約書面の記載事項＞	(3) 契約書面の記載事項 ※P20の22行目、27行目にある「下記(3)の事項」に対応するものとして、「(3)」として下さい。
	テキスト P47 13行目の図	※図中、2か所を訂正してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">延焼のおそれのある部分（法2条六号）</p> <p>同一敷地内の2つの建築物の外壁間の距離が6m以下であれば、合計500mの場合に「延焼のおそれのある部分」が生じる。</p> <p>合計500m未満では「延焼のおそれのある部分」は生じない。</p> <p>外壁間の中心線 ← 同一敷地内の2以上の建築物の延べ面積の合計が500㎡超の場合</p> </div>

以上のとおり、訂正をお願いいたします。